多賀

社報「たが」

秋号

No.74

令和7年10月1日発行

多賀大社

九月 古例祭

九月九日、恒例の「古例祭」が斎行されました。今年は平成二十四年以来となる地元多賀区からの九月古例祭頭人選出となりました。

大辻氏は長年に亘り多賀大社の氏子総代をお勤め頂いている篤信家であり、多賀区の様々な役職を歴任し地域の発展にも大きく寄与されている徳望家です。

当日は午前九時よりの本殿祭に続き、境内では豊凶を占う九月古例祭の伝統行事「古知古知角力（こちこちすもう）」も執り行われました。

祭典後はまだまだ暑さの残る多賀の町中を稚児行列・鳳輦をはじめ、頭人を中心とした騎馬行列が列次を整え練り歩きました。

沿道からは顔なじみの頭人さんという事もあり一際大きな歓声が湧き上がりました。

頭人

大辻（おおつじ） 利信（としのぶ） 氏

昭和23年７月20日（満78歳）

多賀大社氏子総代 会長
元 多賀区長
元 ㈱グランドデュークホテル取締役総支配人

講社大祭（献幣使）九月二十八日

多賀講員の家内安全・莚命長寿を祈願する講社大祭が斎行されました。
本年の献幣使は名北多賀講　講長　水野素和氏にご奉仕いただきました。

令和６年献幣使奉仕風景

講社大祭献幣使を奉仕して

名北多賀講
講　長　水野（みずの）　素和（もとかず）

この度、全国多賀講員の皆様を代表して、全国講員様の家内安全と莚命長寿をお祈りさせていただきました。

名北多賀講にとって多賀講講社大祭献幣使を務めさせていただくことは、五十五年ぶりであり、身に余る光栄と名誉なことと深謝申し上げます。

名北多賀講の講員は、名古屋市北区楠味鋺（あじま）、東味鋺、中味鋺、西味鋺、楠の地内に住まう者で構成されており、毎年四月十五日に合同参拝をしております。

私は六十六歳まで海外駐在員をしておりましたので、退職後平成二十一年に、我が家にて代々崇敬を捧げてきた名北多賀講の講員の跡を継ぎ、毎年合同参拝に参加しておりました。以降味鋺地区にて、自治会連合会委員長、護国院檀家総代代表、味鋺神社氏子総代会会長、愛知県神社庁総代会理事を務めてまいりましたが、この間多賀大社大神様のお導きとご加護のおかげで大難を乗り越えてこられたことに感謝しております。

結びにご奉仕にあたり、多賀大社の講務部を始め、名北多賀講の皆さんのご支援のもと大役を果たすことができましたことは誠に有難く厚く感謝申し上げます。

供奉者ご紹介

水野　光夫氏
岡部　晴洋氏
石田　登　氏
石田　昇　氏
岡田　正光氏

新嘗祭

十一月二十三日、豊年講員皆様の献納による約五百俵の初穂米が拝殿にお供えされ、秋の収穫を感謝する新嘗祭が斎行されます。今年は令和の米騒動とまで言われるほどお米不足に翻弄された一年でありました。この事は、稲作文化によって支えられてきた我々日本人にとって如何にお米が大切であるかを改めて考え直す機会にもなりました。

新嘗祭の斎了をもちまして本年の祈年使・福原一馬様並び豊年使・前田義信様には一年間の大役を終える事となり衷心より御礼申し上げます。

多賀講

今後共かわらぬお力添えをお願い申し上げます。
現在登録の就任年月日より選出しております。就任四十年以上の世話係様は、
システムの都合上、分かりかねますので、是非ご申告下さい。

永年世話係表彰

就任三十年世話係

名古屋市　石田　昇
不破郡　堀田　敏朗
山県市　藤田　厚見
長浜市　西川吟一郎
津市　沢岸　智
相楽郡　木村　清治
宝塚市　中井　二
丹波篠山市　井上　淳史

就任二十年世話係

飯田市　櫻井　宏
一宮市　平野　登
大府市　鷹羽　博昭
知多市　林　秀興
知多市　新帯平四郎
岐阜市　服部　匡宏
美濃市　河合　英子
揖斐郡　神谷　節雄
関市　服部　浩
彦根市　辻　久治
長浜市　三輪　泰久

就任十年世話係

米原市　清水　正雄
近江八幡市　堀川　梅蔵
名張市　藤本　保浩
いなべ市　藤田　一三
津市　堀越　克真
大阪市　熊代　敦子
和泉市　辻畑　光良
飯田市　藤本　照之
一宮市　山口　誠
瀬戸市　神谷　広子
美濃市　山口　一之
美濃市　山口　俊夫
美濃市　山口　義郎
郡上市　井上　一郎
揖斐郡　中島　保男
不破郡　中野　爽明
関市　伊佐地昌則
一宮市　寺澤　清
東近江市　川室　純
東近江市　岡﨑　守
彦根市　片山　敏雄
彦根市　安澤　達夫
彦根市　疋田　吉隆
彦根市　寺村　正一
長浜市　川合　國夫
長浜市　大家　要造
甲賀市　服部　善造
甲賀市　福井　貞雄
近江八幡市　髙橋　成正
東近江市　奥村　幸男
米原市　北村　一芳
米原市　堀居　良一
米原市　坪郷　敏三
長浜市　阿閉　護
長浜市　林　甚一
近江八幡市　奥村　勝己
伊賀市　西田　育郎
向日市　長谷川　浩
京都市　勝山　俊治
相楽郡　古川　晃
河内長野市　杉本　博
丹波篠山市　田中　千秋

（順不同・敬称略）

新任講長他役員・世話係ご紹介

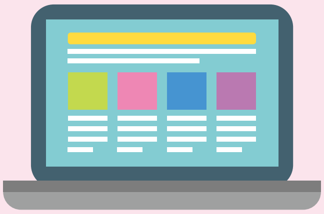
東近江市　木下　義隆
東近江市　脇　正巳
米原市　堀田　和宏
一宮市　坂川　玄幸
名古屋市　寺尾　治美
海津市　松岡　晴信
不破郡　松井　好
蒲生郡　片岡　庄一
米原市　北村　進一
東近江市　國領　建治
東近江市　野村　敏裕
丹波篠山市　安井　次男
栗東市　辻　まつみ
安八郡　伊藤　正博
寝屋川市　西尾セツ子
甲賀市　鈴木　義雄
甲賀市　澤　龍一
甲賀市　谷口　嘉治
木津川市　奈良　由雄
長浜市　福永登実治
彦根市　西川　徹
近江八幡市　高谷　昭広
三田市　喜多　大策
蒲生郡　加藤　幸治
丹波篠山市　宮城　和幸
犬上郡　高橋　克己
美濃市　玉田　浩
甲賀市　竹中喜代美
神戸市　宮前　良夫
東近江市　種村　暢夫
名張市　富永　繁治
東近江市　福永　清明
長浜市　草野　栄治
大垣市　栗田　頼男
甲賀市　山川　康秀
岐阜市　水谷　照男
伊賀市　西山みさ子
名古屋市　石田　登
彦根市　右川　勝彦
彦根市　廣田　靖之
蒲生郡　岸田　康由
彦根市　田中　正司
東近江市　渡辺　祐司
下高井郡　古幡　紀夫
下高井郡　山本　光一
蒲生郡　奥野　幸治

（再任含む・敬称略）
令和七年七月三十一日現在

何卒よろしくお願いします。

スマホやパソコンから、多賀講の入講ができるようになりました

ネットから買い物をすることが多くなった昨今。多賀講でも気軽に神様とのご縁が結べます。



↑
入講はコチラから

『多賀大社附属多賀講』規約が改正されました

講員様へご神符と一緒にお届けしていますので、ご確認下さい。

多賀講入講パンフが新しくなります

信仰、価値観、伝統・習慣が世代を超えて伝わりづらいと、歯がゆい思いをされてませんか？ぜひ、このパンフを介して、皆様の大切な方に多賀講をご紹介下さい。

特別なお祭りに参列しませんか

古例大祭（多賀まつり）

鎌倉時代から続く当社年間の最重儀。四〇〇頭の馬が繰り出し、騎馬行列は五〇〇名にも及ぶ絢爛豪華なお祭りです。講員様は本殿祭に参列ができます。

●令和八年四月二十二日㊌

※8時15分までに授与所へお越し下さい

講社大祭

毎月二十八日に多賀講月次祭にて、全国講員の家内安全・延命長寿が祈られています。九月二十八日は多賀講一番のご縁日です。特別に本殿で拝礼ができます。

●令和八年九月二十八日㊊

※10時30分までに参集殿へお越し下さい

変更が生じた際は、ホームページにてお知らせします。

※QRコードから
『お知らせ』のページへ➡

コンビニやスマホ決済で、講金が納められます

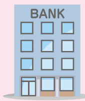
［今年から御世話係様も！］

額面や記載事項に変更が「ない」方

下段の振込用紙
をご使用下さい

コンビニエンスストア

スマホ決済



銀行振込

手数料 **無料**

振込手数料はご負担下さい

額面や記載事項に変更が「ある」方

※変更が「ない」方が使用されても構いません

上段の振込用紙
をご使用下さい

変更やご連絡事項を
余白にご記入

ゆうちょ銀行等
（窓口・ATM）

手数料 **無料**

万灯祭ご献灯 ありがとうございました

本年も、皆様から多くのご献灯を頂き、賑々しく万灯祭が執り行われました。紙面の都合上、二万円灯・一万二千円灯ご献灯者のみ掲載させて頂きます。但し、戒名は申込者名で、連名は代表者名で掲載しております。（順不同・敬称略）

二万円灯

—五灯—

滋賀県
多賀町
多賀大社頭人会
彦根市
彦根露店組合
森野税理士事務所
㈱平和堂
栗東市
㈱NIXIA

愛知県
山本 守男

—二灯—

滋賀県
多賀町
樋口 和輝
㈱多賀組
愛荘町
ジョイソン・セイフティ・システムズ・ジャパン(合)
川口加工所
彦根市
㈱西澤工務店
㈱伊藤組
㈱剛友製作所
㈱一色製作所
㈱永昌堂
アクアシステム㈱
近江鉄道㈱
米原市
㈱でらはちホールディングス

石川県
中川 忠幸

岐阜県
武藤 寿子

愛知県
灘崎㈱名古屋営業所
深谷 友子

大阪府
中西運送㈱

岡山県
灘崎㈱

—一灯—

滋賀県
多賀町
小菅 翔輝
中野 幸彦
㈱ミヤジマ
㈱UNIQUE PIECE HOLDINGS
（一社）多賀観光協会
㈱プロスパー
㈱木村重兵衛商店
㈱グリーンズレストイン多賀
多賀大社末広会
多賀大社氏子総代会
㈲多賀屋
久保田電気㈱
㈲藤居製作所
愛荘町
㈱湖東工業所
井川 拓磨
大菅 太嘉治
㈱拓水
近江印刷㈱
近江八幡市
小島 匡彦
西田 みち子
大津市
㈱内田組
草津市
アール電業
村岡通信建設㈱
甲賀市
㈱コスモ警備
㈱近畿理研
山下 正好
甲良町
大幸生コン㈱
㈱一休庵
丸山 純子
豊郷町
西山 利信
上田 達也
㈱大昴商事
㈱ニシヤマ
西山繊維㈱
長浜市
寺村 正和
太田 きよ
藤居 大暉
鈴木 治彦
南郷里支部柏寿会
鈴木 武司
東近江市
㈱和音東近江塩元帥
平岩 勝
㈱渡辺工務店
原口 洋子
山本 昇
今宿 隆弘
古田 重樹
辻 仁司
㈱ケアブルーム
辻野 義美
小池会
城尾 清一
彦根市
矢吹 安子
伊藤石材店
大山 晴美
川瀬計理事務所
木川 英樹
㈱公益社
㈱イズミ
㈱ムラカミ
稲毛 友幸
山甚開発㈱
㈱伊勢幾
一圓テクノス㈱
共同電気㈱
㈱田中家石材
東亜貨物㈱
㈱清水鐵工所
㈱シンセイ
中村 幸一
㈱ケアファム
片岡 秀和
㈱中栄
フジテック㈱
㈱文教スタヂオ
彦根南ロータリークラブ
兒島 裕明
松本 英子
清水 修三
清水 晶子
櫻井 守
中西 恭子
㈲キタセイ
㈲オフィスタニザワ
松本 行弘
日野町
武本 藤治郎
奥田 秀
イヴカンパニー
米原市
河地 守
三軌工業㈱
藤岡 儀一
中川 満雄
鈴木 稔浩
ふじもと建設
中田 喜雅
守山市
㈱エムハウス
栗東市
林 嘉彦
㈱アチーブメント

宮城県
齊木 晃
櫻井 浩孝

山形県
齊木 浩子

東京都
小橋 和美
小橋 乙平
今井 純子
永曽 重光

神奈川県
新谷 庄司
山田 興行
山田 淑子
木所 章
山田 淑子

石川県
加藤 晴子
(医)澄鈴会
奥野 いずみ

福井県
㈱武村鐵工所

山梨県
矢澤 千鶴
矢澤 貴光

長野県
轟 速人
青柳 智之

岐阜県
白木 昭
田中 敬二
㈱松井組
松野 守正
若山 章
坂井 澄雄
駒井 均
藤田 三蔵
岡田 弘
加納 稔敬
北川 精一
桐山 勝司
森田 千惠
㈲イマイ加工所
渡邊 江身子
篠田 満雄
篠田 すう
亀山 登美子
亀山 洋子
㈱一光開発
伊藤 成彦

静岡県
丸生養鰻
髙橋 正吉

愛知県
奥村 浩光
山本 佳代子
山本 卓治
㈲ヤツルギ自動車
近藤 種廣
近藤 章博
小澤 素生
伊東 忠彦
粋商事㈱
NPO法人ワンプレサポート
市原 久子
坂野 絢子
近藤 弘之
伊藤 公子
水野 淑子
㈱西脇製作所
永一産商㈱
近藤 小有里
田村 公平
深谷 実敬
中村 清利
太田 万紀子
伊藤 豪

三重県
㈲竹島建設
㈲神公堂
㈱葛牧工業
葛巻 錠治
安濃建設㈱
㈱丸越
木村 八重子

京都府
東和奉産㈱
今泉 憲明
神谷 優子
㈱カナザワコーポレーション

大阪府
木屋 巌
江島 史朗
江島 毅
井上 克昌
伊藤 要一
ハクキンカイロ㈱
サントリーホールディングス㈱
多賀 久恭
菅野 亨
曽根崎 義基
㈱コーニッシュ
㈱コーニッシュクレスコ
㈱大阪農林会館
㈱ラインビルド
三協興産㈱
鳥居 忠宏
多賀 征志

兵庫県
山形 直樹
島田 康治
山本 裕大

香川県
毘沙門院 剛史

長崎県
神吉 廣子

一万二千円灯

—四灯—

石川県
秋山 千晶

兵庫県
永居 照世

広島県
井上 明美

—三灯—

滋賀県
長浜市
角田 みちか

岐阜県
松久 利昭

愛知県
則竹 博

大阪府
井上 克昌

—二灯—

滋賀県
大津市
バラセンスファウンディーション
甲良町
㈱ボクシー
豊郷町
㈱昌興
長浜市
山下 勇男
彦根市
㈱伊藤組

岐阜県
㈲フセヤ塗装

大阪府
田中 仁
乗本 学

岡山県
寺山 泰生

—一灯—

滋賀県
多賀町
共栄社化学㈱
井上 尚世
彦根急送㈱
城貝 忠信
㈱マルト
飯尾 俊一
西臺 俊夫
川原 隆司
古川 達弥
古川 良治
上田 正義
㈱弘森
夏原 慶子
㈱コザイ工業
山本 庸司
木村 慶之
目加田 稔
三木 治夫
大辻 利信
㈱井樋
青竜オートサービス
久保田電気㈱
多賀㈱
大津屋
㈱滋賀銀行多賀支店
小財 喜雄
三坊 直
中嶋 知也
木村 克之
宮野 正樹
愛荘町
小川 志津
川口 秀政
Beetle Grande
山縣 峯雄
青木 幸市
山縣 俊之
近江八幡市
深井 幸一
深井 起代子
加藤 博司
加藤 智子
奥山 義雄
㈱大進
大津市
内田 美千男
平山 勇
加藤 卓司
境田 基広
堀 覚斗
疋田 マサ子
草津市
西川 英雄
太田酒造㈱
㈱メタルフィットルーツ石山
奥村 信之
原谷 政則
甲賀市
門坂 章次
奥村 節子
野田 君久
森地 茂樹
林 心也
甲良町
宮尾 茜直
桂田 誠一
桂田 剛司
若林 嘉昭
湖南市
河野 富雄
小西 充
橋本 亜佑美
千代 正博
高島市
萬木 明子
山口 耕司
豊郷町
雅商事㈱
田中 芳子
市川 喜代次

長浜市
横尾工業㈱
百匠屋
清水 大輔
髙津 章人
松村 文子
鈴木 茂
草野 浩一
明文舎印刷商事㈱
金子 勉
㈲セイファ
中嶋 喜代治
細江 善彦
大橋 元信
㈱ビューティサロンスズキ
藤井 恒夫
北村 忠男
㈱かわ重
赤尾 栄司

東近江市
深尾 忠一郎
辻 吉弘
藤川 利夫
東野 圭吾
上野 ひとみ
タカギ電設
辻 義一郎
荻田 さよ子
植田 光男
森野 善一
石垣畳店
メール設計
布施 博美
宮川 富清
中村 源
村山 元
㈲窓快工房共栄
井口 正之

彦根市
松下 庄五郎
松下 庄六
松下 常蔵
松下 利三郎
伏木 禮司
節分会旧河瀬支部
㈱王本
田中電気設備管理事務所
平井 治
渡邊 幹雄
樋口 純一
赤堀 桂介
堀口 敏明
小川 正己
㈲サンキ技建
㈱エムズワン
棚橋 勝道
一圓 億夫
川下 重彦
川下 清子
横山 満三
一圓 外志夫
西山 憲和
㈱千成亭風土
若林 次郎
岩堀 沙耶香
岩堀 鉄平
辻 哲雄
坂田 勝朗
長澤 美奈子
尾田 芳隆
尾田 芳三
尾田 和子
㈲シャトー尾本
続宗 憲一
門脇公認会計士事務所
木村 泰造
清水 智弘
清水 克己
㈱北川鉄工所
寺沢 節男
㈱剛友製作所
大谷 浩司
gérbera ジェルベラ
ラークもみほぐし
大和証券㈱彦根支店
㈱清友商会
㈲田中印刷所
田中 伸明
上田 善治
㈲藤塚時計店
辻 幸治
辻 緑
相川 努
千田 次夫
居川 外實
中田 茂男
塚本 武司
和菓子処さわ泉
髙橋 俊成
山口 之宏
田中 進
岡野 嘉彦
文村 俊治
松本 とよ美

日野町
荒川 和夫
樫野 賢一
道津 豊吉
奥野 幸治

米原市
堀田 嘉広
㈲景樹園
岩﨑 卓巳
吉田 健
井戸 知恵美
大橋 進
髙木 しずを
西川 宏臣
㈱旭ハウジング
髙木 弘重
細野 欽也
cpサロンジャスミン
竹中 桝夫
鹿取 和幸

守山市
福原 尊嗣

野洲市
藤井 利幸
藤井 礼子
深田 義廣
北川 博子

栗東市
田中 光子

竜王町
勝見 兵治
川嶋 健市

米原市
中川 佐多雄

豊郷町
大和リース

北海道
池田 安美子

宮城県
木田 真美

栃木県
松本 宗一郎

群馬県
㈱一千乃

埼玉県
福井 浩一
中嶋 亨
村山 菊治
松村 忠治

千葉県
加藤 ふみ子
上田 郁

東京都
古田 昌彦
萩原 良幸
柳澤 満樹
永井 里佳
永倉 多賀子
永倉 隆幸
小野 圭子
荒澤 志津子
今井 勉
堀江 清道
北川 悌也
宮本 堅治
京極 康信
岩村 正代

神奈川県
正津 和好
岩田 和子

新潟県
福嶋 伸也
田村 忠義
石坂 若葉

富山県
柴野 裕一
柴野 文江

石川県
馬場 勝明
村谷 實
山下 京平
山下 友輔
秋山 鈴子
沢柳 健二

福井県
髙橋 麗子
寺島 進一郎

山梨県
横張 奈々
堀内 由美子
堀内 隼也
山下 恒子

長野県
飯島 一成
小日向 義夫

岐阜県
國嶋 昇
田中 宏治
谷 基彦
谷 侑彦
石田 益一
中村 良夫
細野 毅
河口 禮子
前田 勝治
清水 泰幸
髙木 喜弘
後藤 孝司
吉田 洋康
伊藤 照雄
芳田 一美
大前 英生
杉山 恒夫
津田 美宣
阿部 光正
若山 よし子
㈱森ブロック
林 久雄
傍島 浩蔵
田中 正道
田中 美代子
橋本 茂紀
橋本 幸夫
岡崎 弘則
児玉 昌巳
児玉 信子
堀田 房義
加藤 一巳
古川 美幸
服部 由明
武藤 喜美夫
武藤 裕恵
梅村 十三日
目加田 智美
森 主税
山田 幸男
坂井田 みち子
坂井田 凌雅
山北 武子
髙松 光義
所 清子
井戸 欽次
佐久間 勝義
篠田 富子
林 弥生
浅野 克朗
内田 陽
武田 久雄
武田 春江
深和 英生
村井 奈央
青山 典人
三輪 多賀子
香田 龍太朗
黒谷 信枝
後鳥 慎治
HADI WIDJOJO
河合 忠雄
豊島 保夫
桐山 光明
㈲太閤建設
太田 弘一

静岡県
後藤 数馬
安間 紀雄
福島 誠
横地 美和子
加藤 亨子
佐野 隆司
島澤 仁
榛葉 保
原田 堅一
石山 進
アルファ
行政書士 オフィスブリッジ

愛知県
山下 勇也
岩田 ひとみ
寺部 明子
長谷 美都子
㈲青山鉄工場
熊澤 龍彦
鈴村 直時
石原 義隆
中島 暉夫
中島 静枝
加古 雅雄
中西 みち
伴 繁夫
山中 卯津樹
堀田 俊明
長谷川 雅俊
後藤 金成
平松 昭
杉原 正
野辺 弘子
吉田 秋光
川口 ゆみ子
㈱竹金商店
石原 進
山田 民子
安藤 種雄
松村 栄子
杉浦 嘉保
浅野 博和
國立 治己
稲山 慎司
稲山 千帆
玉田 光利
久野 博足
久野 洋子
川嵜 昌紀
伊藤 美代子
服部 宗彦
鈴木 美知代
中野 秀明
神保 義之
大山 玲子
藤田 佳孝
北川 幸太郎
梶田 佳代
石黒 満昭
㈱ニデック
服部 鉄男
伊藤 勝視
吉川 兼人
西脇 誠子
太田 英里
太田 晃治
太田 明里
家田 宗雄
大橋 一世
深谷 みち子
伊藤 輝男
㈱大智建設
太田 英茂
林 宏光
㈱マルキ化成工業所
佐藤 博一
岸川 豊
原田 千種
田中 末子
㈱名古屋ガードリサーチ
名古屋促成青果㈱
堀 信賢
㈱シンセリー
㈱ナゴヤコーセー
㈱ジオット
愛知県北新青果㈱
㈱レクスト
山口 力矢
三浦 精一
小林 一子
伊藤 義清
中野 修
石黒 昌啓
石黒 幸志
梶浦 登
平野 正治
平野 俊哲
伊藤 里江
伊藤 里江
松村 宏造
加藤 肇
鍋島 充志
古田 孝之
木下 節男
柴田 厚子
川合 良和
川合 洋子
鈴村 秀実
永井 真奈美
加藤 了三

三重県
荒瀬 光一
㈱いつみや木工
山口 傑
大西 良和
大西 京子
児玉鉄工㈱
冨田 昌孝
若松 芳弘
市川 誠郎
宇陀 清隆
島子 規子
藤井 保之
児玉 すゞ子

京都府
㈱片岡商店
山﨑 俊之
山﨑 友子
京都奉製㈱
林 喜右衛門
田中 政行
野村 裕樹
村城 信隆
垣見 和敏
村上 尚寛

大阪府
ダイワ工業㈱
江島 洋子
小林 昌代
吉田 成男
中嶋 博子
辻田 芳宏
南野 章浩
森 克良
籏埜 裕久
奥 一夫
藤田 康宏
乗本 達子
木村 光里
木村 俊子
ヨシダ印刷㈱
西村 将彦
阪本 翔利
多賀 義高
久保 孝治
北浦 康雄
西尾 正彦
西尾 和子
相原 安子

兵庫県
森本 美智代
田中 潤平
長田 正道
長田 洋子
住友 修
大脇 敏夫
朝倉 赳
三好住宅経営
米谷 登
山本 裕大
山本 浩子

奈良県
後 明果
田原 芳子

和歌山県
小鯖 恵メロディ

島根県
因原神楽団

岡山県
白神 隆義

広島県
中津 桃子

香川県
毘沙門院 野上建設㈱

福岡県
㈲多賀瑞祥
矢島 綾子
河野 隆
宮﨑 チヅヨ
古賀 雅彦

佐賀県
川原 信幸

長崎県
秋山 雅美

多賀大社祭礼の明治維新

滋賀県立大学 教授
市川 秀之

多賀大社所蔵の多賀社参詣曼荼羅は安土桃山時代の多賀大社とその周辺の様子を詳細に描いた作品であるが、それと現在の多賀大社境内を比較すると大きな違いがあることに気づく。曼荼羅には三重塔や六角堂などの仏教施設とみられる建物が多く描かれているが、これらの建物は現在ではほぼ見られず、鐘楼のみが残されている。江戸時代までは仏教と神社が深くむすびついており（神仏習合）、多賀大社の境内にも不動院など四ケ寺が建立され祭礼にも深く関与していた。多賀社参詣曼荼羅にも境内に僧形の人物が描かれている。

慶応四年（一八六六）四月、明治政府は神仏分離の太政官布告を出し、これはすぐに多賀大社にも伝えられた。激しい廃仏毀釈の動きがあり、その後徐々に現在のような境内が整備されていったのである。江戸時代に境内にあった寺院には多くの坊人が所属し、彼らは全国を廻り多賀信仰を広めていたが、その多くは甲賀地方の里修験であった。明治政府は修験道についても明治五年に禁止したため、坊人たちの活動も停止されることとなった。また多賀大社が江戸時代に持っていた社領も廃されることとなる。坊人や社領の廃止は経済的に多賀大社、ことに多くの費用を要する祭礼の執行に大きな影響を与えるものであった。

このように多賀大社にとって明治維新は大きな変化の時代であったが、そのなかで祭礼も大きく変化することとなった。多賀大社文書中の明治二年（一八六九）四月十六日の「多賀大社御祭礼渡り之次第」はちょうど変化の過渡期にある祭礼の様子を示す史料である。それが記載するところによると当時すでに不動院などは境内にはなく社僧の参加もみられないが、彦根藩はまだ存在しその祭礼奉行が朝から神社におもむき栗栖の御旅所などにも行っている。祭礼に参加しその進行を監督するのが祭礼奉行の職務であったと思われる。彦根藩は明治四年の廃藩置県によって廃され彦根県となり当然藩士の参加もみられなくなる。これは同時に彦根藩からの援助もなくなることを意味していた。このようななかで祭礼を継続するため多賀大社では明治三年に大きな改革をおこなっている。明治三年八月の「多賀大社馬頭人神事改革件々」はさまざまな改革内容を記すが、もっとも大きなものは神事用懸りを設けたことである。これは郷町から二〇名、社家から三名の用懸りを選ぶもので、彼らが中心となって新時代の祭礼改革が進められることとなった。神事用懸りは富裕な者が選ばれたために彼

多賀社参詣曼荼羅（桃山時代）

らは神事積立金を負担したが、同時に祭礼の負担軽減も進められている。当時の祭礼において馬頭人の負担は非常に大きなものであったが、それを軽減し一部を神事積立金から拠出するというのが明治三年の改革の中心であった。神事用懸りの中心となったのは多賀や高宮周辺の商人や豪農であったが、境内寺院や坊人あるいは社領が廃止された新時代に、神社とともに近隣の信者が一体となって祭礼を維持していこうとしたのである。

明治維新によって変化したのは祭礼を支える経済だけではなかった。明治六年（一八七三）一月一日より明治政府は太陽暦を採用する。これは明治五年十一月九日の太政官布告で公布されたもので、太陽暦施行までがあまりに短期間であったため全国的にさまざまな混乱を引き起こした。多賀大社では明治六年正月より太陽暦を採用しているが、祭礼の日にちをそれに合わせるのは困難であった。しばらくは四月の大祭は四月の中の午の日、六月祭礼も中の午の日、九月祭礼は九日におこなわれていた。つまり月は太陽暦にあわせながら、日は各祭礼とも中の午の日としたため毎年祭の日が変化することとなった。四月の大祭の日程については明治十八年に官幣中社となったのを期に太陽暦の四月二十二日に固定されるまでこの状態が続いた。

その後明治六年、十二年、十六年などにも祭礼について大きな改革がおこなわれ、それによって祭礼をめぐる組織や馬頭人の選出方法などが大きく変化していった。明治六年からは頭人差定式にも神事用懸りが参加することとなり、十二年の改革では地域順番制を廃し郡内全体から鬮（くじ）で頭人を選ぶことになった。ただこれには各地域からの反発があったようである。明治十六年の改革ではそれまでは神官が順番で勤めていた御使殿が氏子村落のなかから選ばれる形に変化をしている。これらの改革は明治政府が矢継ぎ早に示す政策に対応するものでもあり、また彦根藩・彦根県・長浜県・犬上県。滋賀県と推移していった行政単位の目まぐるしい変化に対応するものでもあった。しかし基本的には地域の人々が一体となって神社の祭礼を支える体制への変化がこれら数次の改革の中心であったといえるだろう。

明治二十年ころに至って、維新から続く多賀大社祭礼の変化は一定の安定を見せるようになる。この変革の期間の大半を祠官・宮司として牽引したのは、元彦根藩士であった宇津木久岑であったことも忘れてはならない。改革を繰り返すことによって、激動の時代において多賀大社は祭礼を継続することができたのである。

豊年講大世話係就任五十年を迎えて

伊吹　定一

謹んで大神様の御神徳に深く感謝申し上げます。多賀大社のご霊徳と講員様の豊年豊作に寄せられる熱い思いに育てられた五十年は夢のようです。洵にありがたく衷心より厚く御礼申し上げます。

「米」という字は、八十八と書きます。土や水つくりなど、たくさんの手間がかかることから生まれたと聞いています。神代の時から「食」として一粒も無駄にしない貴重なものと崇められてきました。

毎年、威儀深い大切な行事で、春には祈年祭や田植祭、秋には豊年祭など厳かに執り行われています。ありがたく存じます。

昨今、「米」が日本中で話題になっています。神を敬い「初穂米」を献上させていただくことで心が洗われます。「米」は日本人の主食で不滅です。

結びに、講員様のご健康とご多幸、豊年講の益々のご隆昌をご祈念申し上げます。

「浜北の森」再生

平成二十五年に神社北側約六百坪の譲り受けた土地に植樹を行い「浜北の森」と名付け管理を続けておりますが、十年以上が経ち、少し手入れが必要となりましたので当社の崇敬団体であり「浜北の森」の名称に由来している静岡県の植木神社奉賛会の皆様により新たに約六十本の植樹を行って頂きました。今後も「浜北の森」が植木神社奉賛会と多賀大社を結ぶ友好の森として成長する事を願います。

絵画奉納

去る、七月十四日　東近江市在住の大河原政之氏より当社、抜穂祭の油彩画の奉納を賜りました。大河原氏は県下の絵画展で数多く入選をされておられます。

此度のご奉納の真心に感謝申し上げます。

年会費変更のお知らせ

崇敬会は昭和四十六年に発足以来、皆様のお力添えにより五十年を迎えておりますが、近年、お守りやお供物の調製費をはじめ、郵送料等も値上がりを続けております。このような状況により誠に恐縮ではありますが、令和八年のお誕生日より年会費を**二、五〇〇円**に変更させて頂く事となりました。

何卒ご理解賜り、今後とも多賀の大神様とのご縁を末永くお結び下さいますようお願い申し上げます。

人事

昇級

神職身分二級上

【禰　宜】中嶋　知也（令和七年三月　十　日付）

採用

【出　仕】中野航太朗（令和七年三月　二十　日付）
【舞女兼事務員】芝原　百虹（令和七年三月　十五　日付）
【舞女兼事務員】谷川　杏寿（令和七年三月　十五　日付）
【舞女兼事務員】山本　芽生（令和七年三月　十五　日付）
【舞女兼事務員】馬場　心優（令和七年三月　十五　日付）

退職

【権禰宜】辻　雅史（令和七年五月三十一日付）
【出　仕】長谷　学（令和七年六月　三十　日付）
【舞女兼事務員】角川　美優（令和七年一月　三十　日付）
【舞女兼事務員】大西　瑞生（令和七年三月三十一日付）
【舞女兼事務員】太田　真唯（令和七年六月　三十　日付）
【舞女兼事務員】小堀　美波（令和七年六月　三十　日付）
【舞女兼事務員】関　彩可（令和七年六月　三十　日付）
【舞女兼事務員】堀居奈津美（令和七年七月三十一日付）

七五三のご案内

■令和７年七五三まいり

祝い年	対象	数え年	満年齢
３歳	男の子 女の子	令和５年生	令和４年生
５歳	男の子	令和３年生	令和２年生
７歳	女の子	平成 31 年生 令和元年生	平成 30 年生

※数え年・満年齢どちらでもお受けします

■ご祈祷料

	拝殿祈祷	本殿祈祷
１人	5,000 円	10,000 円

～お２人目からの祈祷料改定～
従来はきょうだいに限り２人目が 3,000 円
３人目が 2,000 円の祈祷料でありましたが
本年よりお２人目以降も一律 5,000 円の追加と
改定致しました。

	拝殿祈祷	本殿祈祷
２人	10,000 円	15,000 円
３人	15,000 円	20,000 円

お子様の成長をお祝いし感謝する七五三。
千歳飴を始め、選べるおもちゃを
用意してお待ちしております。
ご家族お揃いにてお参り下さい。

初詣は多賀さんへ

来年は午（うま）年
馬は古来より神様の乗り物やお使いとして崇められて来ました。
願い事を書く絵馬の起源も絵に描いた馬に願い事を乗せて神様に届けてもらうと言った意味合いがあります。
このように非常に縁起の良い午年にあやかり、万事が〝うま〟く行く一年になりますようお祈り申し上げます。

紅鏑矢　烏鏑矢　守護矢　えと一刀彫　えと鈴　四色えと鈴　えと張子　首振り　えと張子

えと張子	¥1,000	えと鈴	¥1,000
首振りえと張子	¥1,500	四色えと鈴	¥800
紅鏑矢（べにかぶらや）	¥2,000	熊手（特大）	¥10,000
烏鏑矢（からすかぶらや）	¥2,000	熊手（大）	¥5,000
守護矢	¥1,000	熊手（中）	¥3,000
		熊手（小）	¥2,000

多賀大社
〒522-0341 滋賀県犬上郡多賀町多賀 604
tel.0749-48-1101　fax.0749-48-1105
info@tagataisya.or.jp
多賀大社 検索
https://www.tagataisya.or.jp
@tagataisya.official
@tagataisya

編集後記

以前の社報（平成三十年春号）で滋賀県民の平均寿命が全国で男性が一位・女性は四位という記事を書きましたが、令和四年の最新調査結果で男性は前回同様に一位、女性も二位と順位を上げ、男女を平均すると一位になります。長寿の秘訣は生活環境面や生活習慣面など様々な要因が挙げられています。

しかしながら健康寿命（心身ともに自立し、健康的に日常生活を送れる生存期間）となると男女とも十位前後と一位にはまだ遠く、今後は平均寿命も健康寿命も一位となり、真の「日本一の長寿県」となれる事を期待しております。